

1

まちづくりの指針となる

『田原市総合計画』の策定状況をお知らせします

Long-Range City Planning

田原市では、平成23年度と24年度の2か年にわたり『**第1次田原市総合計画**』の見直し作業を進めています。

策定に当たっては、「まちづくり中学生会議」や「まちづくり市民会議」「田原市総合計画審議会」などの開催のほか、「各校区との意見交換会」「パブリックコメント」などの実施により、広く市民の皆さんからご意見をいただきながら、市民との協働体制のもと作業を進めています。
今回は、それぞれの会議の検討内容や状況をお知らせします。



●まちづくり中学生会議の様子



●グループ発表の様子

『総合計画』ってなに？

市が策定する最上位の計画です。「将来都市像」を掲げ、「土地利用の方針」「まちづくりの方針」などを示し、10年後の田原市をどのようにしていくのか、そのためには具体的にどのような事務事業を行っていくのかを定める、とても重要な計画です。

まちづくり中学生会議

まちづくり中学生会議は、田原市の将来を担う中学生に「田原市のまちづくり」について考えてもらおうきっかけとし、そのアイデアを今後のまちづくりに活かすことを目的に、8月21日(火)・28日(火)の2日間、開催しました。会議には、市内7中学校から3年生、合計22名が参加。3つのグループに分かれ、ワークショップ形式で『田原市の好きな所・問題点』『田原市をもっと良くするためのアイデア』をテーマとして意見交換を行いました。

◆田原市の好きな所

●農業・工業などの産業のバランスが良い

●緑が多く自然が豊か

●ぐるりんバスが安くて気軽に使える

◆問題点

●農業の後継者不足

●海や山、道路にゴミが多い など

◆アイデア

- 地元食材を使った、グルメ商品の開発による地域の活性化
- 渥美半島を菜の花で彩る
- 農業体験を通じて田原の良さを知ってもらう など

田原市の将来に向けて多くのアイデアが出され、総合計画の策定作業を進めるうえで、とても収穫の多い2日間となりました。



●さまざまなアイデアを出し合った中学生の皆さん